



NO. 197

2009. 11. 15.

社会福祉法人 大阪市知的障害者育成会

(別名 大阪市手をつなぐ親の会)

<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>

大阪市天王寺区東高津町 12-10

大阪市立社会福祉センターB1F

発行責任者 笹野井 庸夫

TEL 06 (6765) 5621 FAX 06 (6765) 5623

第九回大阪市知的障害者育成会大会を開催

平成二十一年十一月八日(日)、大阪市西区の大阪YMC Aホールにおいて開催しました。

式典では、大阪市長をはじめ多くの方々からご祝辞を賜り、また、多くのご来賓をお迎えし盛大に行うことができました。その後、全日本手をつなぐ育成会の副島理事長から中央情勢報告、午後からは明星大学教授で全日本手をつなぐ育成会理事の吉川かおり氏からご講演をいただきました。

本年は、お昼の休憩時間に白ゆりコーラスと、また東成育成園のメンバーが元氣一杯のチャリディングを披露してくださり、楽しいひと時も過ごすことができました。

第九回大阪市知的障害者育成会大会に参加して

港育成園支部

高森 照子

いただきました。

中央情勢報告では、全日本手をつなぐ育成会理事長の副島宏克様より、障害者自立支援法の国会審議、障害者虐待防止法の審議中止、就労による障害基礎年金の減額停止、

第九回大阪市知的障害者育成会大会が、十一月八日、大阪YMC A会館ホールにて行われました。当日は、たくさんのお来賓をお迎えし、親御さん、利用者と共に熱気あふれる大会を楽しく過ごさせて

いただきました。中央情勢報告では、全日本手をつなぐ育成会理事長の副島宏克様より、障害者自立支援法の国会審議、障害者虐待防止法の審議中止、就労による障害基礎年金の減額停止、社会保障国民会議、安心社会実現会議などを実際に詳しく例を出しながら話されています。また、障害者福祉のチェックポイントとして、次の三点が挙げられていました。

①障害者問題を障害のある人と家族だけの問題とせず、国民一人ひとりが自分の問題として理解しているか? ②障害者福祉が「特別の人達の福祉」ではなく、一人の人間としてまた普通の国民として受け入れられているか? ③障害者が安心して暮らすことのできる街づくりは進んでいるか? やはり、この三点は私も一番気が必要とこのことでした。



昼食の後、白ゆりコーラスのお母さん達が美声を聞かせてくださり、東成育成園の利用者さんが舞台上でチャダンスをされた時は、私の子どもも歌ったり踊ったりが大好きな

ので、もし客席で観ていたとしたら、思わず舞台上が上がって行ったかも知れません。「手作りクッキー」もとてもおいしかったです。

次に明星大学人文学部教授で全日本手をつなぐ育成会理事の吉川かおり様が「家族支援プロジェクト」〜子どもたちの生活づくりと親のライフプラン〜をご講演くださいました。自身の自己紹介の時に、「私は、ダウン症の兄がいるんです。」と何気なく言われ、ダウン症の子どもを持つ私には、とても親近感を覚えながら、お話しに聞き入りました。家族のあゆみと次のステップへのターニングポイントは、①障害がわかったときの乳児期、②学齢期、③学校を卒業するころ、④成人した子どもが自分なりの自立をするとき、の四つがあるようです。お話の途中、ライフプランシート記入やチェックシート記入時には、子どものことを第一に考